

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

施策名	消防団車庫整備事業		
-----	-----------	--	--

施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
-------	-----------------------------	--	--

決算額	13,589千円	財源内訳	国県支出金等	12,800千円	一般財源	789千円
-----	----------	------	--------	----------	------	-------

【施策の概要】

◎老朽化した消防団（35分団）詰所及び車庫の新築及び解体

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事費	13,545	<ul style="list-style-type: none"> ・新築 藤沢（東町）3648番17 軽量鉄骨造2階建・64.2㎡ ・解体 藤沢（東町）3348番1 軽量鉄骨造2階建・46.2㎡
負担金	44	水道加入金
合計	13,589	



35分団車庫

【施策の成果】

消防団の消防活動拠点である消防団車庫の整備を図ることにより，消防団の活性化と消防団員の士気高揚が図られました。

款	消防費	項	消防費
施策名	消防施設改修及び長寿命化事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	17,506千円	財源内訳	国県支出金等 11,700千円 一般財源 5,806千円

【施策の概要】

市内の消防施設について，耐震診断の結果に基づき，既存建築物の耐震性能の向上及び長寿命化を行い，今後予想される地震災害等に対して市民の生命，財産を守る消防活動拠点施設としての機能の維持を図ります。

◎耐震診断結果

○神立消防署・・・昭和53年築（33年経過）

鉄筋コンクリート造＋鉄骨造 2階建

鉄骨造部分は耐震性能が確保されていない。

鉄筋コンクリート造部分は，耐震性能が確保されているが，コンクリートブロック壁は改修が必要とされた。

○荒川沖消防署・・・昭和49年築（37年経過）

鉄筋コンクリート造 2階建

耐震性能は確保されているが，片持ち梁・コンクリートブロック壁・ガラスブロック壁・ひび割れ及び剥落部は改修が必要とされた。

《神立消防署》

（単位：千円）

区 分	事 業 額	23年度決算額	24年度繰越額
工事設計業務委託	4,106	4,106	0
工事監理業務委託	1,890	0	1,890
建築主体工事	40,740	0	40,740
機械設備工事	10,448	4,116	6,332
電気設備工事	9,177	3,400	5,777
仮設車庫設置工事	687	687	0
訓練塔仮設工事	1,260	1,260	0
合 計	68,308	13,569	54,739

《荒川沖消防署》

（単位：千円）

区 分	事 業 額	23年度決算額	24年度繰越額
工事設計業務委託	3,937	3,937	0



現在の神立消防署庁舎



現在の荒川沖消防署庁舎

【施策の成果】

消防力の基幹である消防施設を整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費
施策名	消防拠点施設整備事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	231千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 231千円

【施策の概要】

現在の消防本部庁舎は、昭和41年に竣工されて以来46年が経過し、老朽化・狭隘化が顕著となっているため、消防活動拠点として活用できる新庁舎の建設を目指します。

- ・新庁舎の基本構想等を含めた消防のあり方に関する土浦市消防本部新庁舎建設検討委員会（学識経験者・有識者等で構成）を平成23年10月に設置しました。

- ・土浦市消防本部新庁舎建設検討委員会の開催状況

事項	日程	検討内容
第1回検討委員会	平成23年10月27日（木）	現庁舎の現状と課題・新築の必要性・消防活動拠点施設の在り方など
第2回検討委員会	平成23年12月22日（木）	新庁舎整備基本構想・基本計画概要など
第3回検討委員会	平成24年 2月23日（木）	新庁舎整備基本構想の承認・基本計画概要・新庁舎建設候補地など

- ・土浦市消防本部新庁舎整備基本構想－これからの「土浦消防」－を平成24年2月に策定しました。

新庁舎建設の基本的考え方

[基本方針] “安全（SAFE）”

- S；災害に強く持続可能な庁舎（Sustainable）
- A；市民に開かれた庁舎（Available）
- F；人と地球にやさしい庁舎（Friendly）
- E；機能的経済的な庁舎（Efficient）



現在の消防本部庁舎

[平成23年度]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	225	委員報酬
需用費	6	委員会開催時飲物代
委託料	0	新消防庁舎整備基本計画策定業務委託
合計	231	

[平成24年度への繰越]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	998	新消防庁舎整備基本計画策定業務委託

【施策の成果】

消防力の基幹である消防庁舎を整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	「いばらき教育の日」推進事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	549千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 549千円

【施策の概要】

中学校生徒の自己教育力や地域の教育力の向上を図ることを目的として、生徒、保護者、地域の人々が一緒になって教育について考える機会を設定しました。

11月の「いばらき教育月間」にあわせて、市内全中学校において講演会を実施し、子どもたちが夢と希望をもって将来を考えることができるよう、参加者全員で考え、意見交換を行いました。

学校名	内容及び『演題』	講師
土浦一中	講演会，護身術実演 『心と体を強くする方法』	チャールズ・ケント・ウィルソン 氏 (スポーツインストラクター，タレント)
土浦二中	講演会，実演，サッカー指導 『スポーツを通して学んだこと』	大野 俊三 氏 (元鹿島アントラーズ選手)
土浦三中	講演会，トレーニング方法実演 『成長』	石塚 祐輔 氏 (元陸上短距離，世界陸上出場)
土浦四中	講演会 『今できること，今だからできること』	大塚 正美 氏 (元陸上長距離，箱根駅伝出場)
土浦五中	講演会 『いい文章はおいしい料理と同じです』	川村 二郎 氏 (元朝日新聞編集委員)
土浦六中	講演会 『夢を追いかけて』	瀧本 誠 氏 (柔道，シドニーオリンピック金メダリスト)
都和中	講演会，演奏 『北茨城市における東日本大震災の 被害状況と復興の現状』	石井 秀之 氏 いばらきはらんべ楽団 (北茨城市在住，復興活動団体)
新治中	講演会 『ボランティア活動を通して 地域の絆を深めよう』	岡田 悦雄 氏 (新治地区ボランティア会長)



土浦二中での講演会及びサッカー実技指導の様子

【施策の成果】

各方面で活躍している人たちが、自分の夢を実現させるために努力したこと、そのときの思い、そして成果を挙げた充実感等を語ってくださり、子どもたちは自分の将来の夢と重ね合わせて真剣に聞き入っていました。

子どもたちが、自立心をもって将来を考え、自己実現を目指そうとする姿勢を身に付けるきっかけになるとともに、保護者や地域の方々にも「地域で子どもを育てていく」という必要性を再認識する時間をもっていただくことができました。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	「小中一貫教育」推進事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	181千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 181千円

【施策の概要】

子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の在り方について、真鍋小学校と土浦第二中学校をパイロット校に指定し、実践的な研究を推進しました。

小中一貫教育とは、「小中学校間の円滑な接続を図り、教職員が義務教育9年間を見通して児童・生徒の指導にあたる教育」のことです。現在本市では、別の校舎で生活する小中学校による「連携型小中一貫教育」について研究しています。

《平成23・24年度研究テーマ》

心豊かでたくましく、自分の思いや考えを的確に表現できる子どもの育成
～子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の推進を通して～

《真鍋小学校・土浦第二中学校での取り組み》

真鍋小学校と土浦第二中学校では、全ての教職員が次の3部会に分かれ、様々な教育活動や学校行事等における交流活動を行いました。

[確かな学力部会]	集中して聞き、考えを深め、伝える力の育成 ○取組例：学習のきまりの統一・相互授業参観と小中合同の授業検討会
[豊かな心部会]	地域とのふれあいや異学年交流を通しての思いやりや感謝の心の育成 ○取組例：中学生から小学生への絵本の読み聞かせ 土浦二中吹奏楽部と真鍋小金管クラブの合同練習会及び音楽会参加
[健やかな体部会]	自らの健康管理ができる児童生徒の育成 ○取組例：小中学校を貫く食育に関する指導、小中合同交通安全指導



中学生による絵本の読み聞かせ



中学校吹奏楽部と小学校金管バンドの合同練習

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	90	東京都品川区の小中一貫教育を推進した専門家へのアドバイス料
印刷製本費	80	小中一貫教育についてのリーフレット印刷 配付対象：真鍋小保護者・土浦二中保護者・市内各小中学校 各1部 回覧による周知：土浦二中学区地域住民
消耗品費	11	「小中一貫教育全国サミット in 呉 2011」等先進地域資料代

【施策の成果】

本市における小中一貫教育を推進していく上での課題について追究し、具体的な方策について実践的な研究を進めてきました。児童生徒の顕著な変容はまだ見られませんが、交流行事の後の感想では、喜びや達成感について述べられています。

今後は、真鍋小・土浦二中での取組を基盤に、本市全体で推進する小中一貫教育について検討し、本市独自の小中一貫教育の在り方を研究していきます。

款	教育費	項	教育総務費・小学校費
施策名	学力向上対策事業・理科支援員配置事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	10,618千円	財源内訳	国県支出金等 918千円 一般財源 9,700千円

【施策の概要】

◎学力向上対策事業

《夏休み補習授業》

小学校4～6年生を対象に、夏季休業中に補充学習を実施し、学習の効率・効果を上げるため、補習問題を作成・配付したほか、習熟度別少人数指導に対応するためのサポーターを配置しました。

- ・小学4年生対象「学びの広場」、小学5、6年生対象「学びの教室」を実施
- ・小学4年生には市内全小学校の各学級に1人サポーターを配置
- ・算数・国語の補習問題を作成・配布

《学力調査・生活状況調査》

学力調査や生活状況調査を実施することにより、学習への取組意識や基本的な生活習慣、社会性などについて見取り、教員や児童の課題を明確にすることで、指導方法の改善や児童一人一人の補充学習の充実、児童の学力の向上を図りました。

- ・小学3～6年生を対象に学力調査を実施
- ・小学4～6年生を対象に生活状況調査を実施

◎理科支援員配置事業

理科に関する専門的な知識や技能等を持つ人材を、小学校5、6年生の理科の授業に活用することで、理科授業の観察・実験活動の充実及び教員の資質能力向上を図りました。

- ・市内全小学校20校に1人ずつ理科支援員を配置
- ・観察・実験等の計画立案や教材開発、また授業をスムーズに進めることが出来るよう、実験準備や片付けを支援
- ・理科支援員が中心となり、観察・実験方法や授業の進め方について随時研修を実施



学びの広場での学習の様子



実験の補助を行う理科支援員

【施策の成果】

○サポーターの配置により、個別の指導が受けやすくなり計算等の基礎の定着につながりました。また、作成した補習教材の使用することで、児童一人一人が効率よく学習に取り組むことができました。学力調査及び生活状況調査では、児童の学習・生活状況が明確になり、課題解決に向けた指導法や体制の改善に役立てることができました。

○理科支援員が実験や観察等の支援・補助を行ったことにより、児童の理科に対する興味関心を高め、実験や観察の基礎知識や技能習得を図り、さらに、教師の指導力向上に寄与しました。

款	教育費	項	小・中学校費
---	-----	---	--------

施策名	小・中学校防犯カメラ設置事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	5,023千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 5,023千円

【施策の概要】

市内全28小中学校の校舎・体育館などに防犯カメラを設置することで，不審者の校内への侵入及び夜間や休日の器物破損等の犯罪抑止を目的としています。
 また，現在の機械警備システムと連携させることにより，防犯カメラが損傷を受けた場合には，警備会社に自動的に通報されるようにしました。

小・中学校学校事故報告届出状況
 (校舎等の窓ガラス破損，落書きなど)

年 度	小学校	中学校	合 計
20年度	1	3	4
21年度	2	2	4
22年度	3	0	3
23年度	1	0	1



小・中学校に設置された防犯カメラ



安心して校庭で活動する児童生徒

【施策の成果】

防犯カメラを設置することにより，夜間や休日の器物破損等が抑止されたため，児童・生徒が安心して学校生活を送れるようになりました。

款	教育費	項	小・中学校費
施策名	小・中学校県産材活用（机の天板交換）事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	17,563千円	財源内訳	国県支出金等 5,000千円 一般財源 12,563千円

【施策の概要】

小・中学校で児童・生徒が使用している古くなった学習机のうち、脚がしっかりしている机については、天板のみを県内の間伐材を使用したものに交換して、資源の有効活用を図りました。

小学校 1,328台 中学校 1,327台 合計2,655台



県内の間伐材を活用した机（真鍋小）



県内の間伐材を活用した机（土浦二中）

【施策の成果】

県内の間伐材を活用した天板に交換して引き続き使用することにより、資源の有効活用と地球温暖化対策になることから、児童生徒にとって環境教育の一助となりました。

款	教育費	項	小学校費
施策名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	137,759千円	財源内訳	国県支出金等 70,000千円 一般財源 67,759千円

【施策の概要】

- 土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業実施設計業務委託
- 土浦小学校改築に伴う埋蔵文化財発掘調査支援業務委託
- 土浦小学校地質調査業務委託

教育環境の改善を推し進めるため、老朽化が著しい土浦小学校の校舎及び屋内運動場の改築計画を進めている中で、平成23年度は前年度に作成した基本設計を踏まえ、建築・電気・機械設備等工事の実施設計を行いました。

また、埋蔵文化財の包蔵が過年度試掘調査において確認されているため、学校グラウンド部については埋蔵文化財発掘調査を実施しました。



外観パース（実施設計）



埋蔵文化財発掘調査状況
建物基礎遺構

【施策の成果】

平成22年度に実施した基本設計を基に、より詳細な実施設計を行うことで、事業に係る詳細な事業費や事業進行スケジュール等の把握ができ、平成24年度から着工する改築工事に向けての準備を完了することができました。

文化財の発掘調査では、土浦城の堀跡や江戸後期～明治初期ごろと推定される建物基礎遺構等が発見されたことから、今後教育委員会において出土資料や測量図等を整理し、調査報告書を刊行する予定になっています。

款	教育費	項	小・中学校費
施策名	小・中学校施設耐震化事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,633,039千円	財源内訳	国県支出金等 1,605,164千円 一般財源 27,875千円

【施策の概要】

○耐震補強及び大規模改造実施設計

学校名	建物区分	構造	階数(階)	延床面積	棟数
荒川沖小学校	校舎	R C	3	723	1
第二中学校	校舎	R C	4	5,720	4

○耐震補強及び大規模改造工事（工事監理業務委託も併せて実施）

学校名	建物区分	構造	階数(階)	延床面積	棟数
東小学校	校舎	R C	3	2,496	2
中村小学校	校舎	R C	3	3,915	2
真鍋小学校	校舎・屋体	R C	3	1,932	1
第一中学校	校舎	R C	4	5,187	3
第三中学校	校舎	R C	4	4,040	2

※R C：鉄筋コンクリート造

学校施設は、児童生徒の安全確保を図るとともに、非常災害時には地域住民の避難所としての役割を果たすことから、校舎棟の建物の耐震・耐久性の確保、安全性の維持などの防災機能の強化を図る必要があります。

平成23年度は、小・中学校各1校の校舎について耐震補強工事の実施設計を行うとともに、小学校3校と中学校2校の耐震補強工事を実施しました。



東小学校耐震補強及び大規模改造工事



土浦第三中学校耐震補強及び大規模改造工事

【施策の成果】

耐震補強及び大規模改造工事を実施したことにより、小中学校5校10棟の耐震性が向上し、児童生徒の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

款	教育費	項	中学校費
施策名	土浦第五中学校特別教室棟増築事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	88,186千円	財源内訳	国県支出金等 75,391千円 一般財源 12,795千円

【施策の概要】

近年の生徒数の増加に伴う教室配置により、特別教室（図書室等）が不足していたため、特別教室棟の増築工事を実施しました。

- 第五中学校特別教室棟増築実施設計業務委託
- 第五中学校特別教室棟増築工事
- 第五中学校特別教室棟増築工事監理業務委託

(単位：㎡)

建物区分	構造	階数	1階	2階	延床面積	(1階)	(2階)
校舎	S	2階	図書室1室	多目的教室2室	441	220.5	220.5



特別教室棟外観



1階図書室内観

【施策の成果】

特別教室を増築することにより、学校の多様な学習形態にも対応できる学習環境が整備されました。

款	教育費	項	幼稚園費
施策名	市立幼稚園預かり保育事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	2,054千円	財源内訳	国県支出金等 1,755千円 一般財源 299千円

【施策の概要】

保護者の要望や、国の幼稚園教育要領の改訂に対応し、教育活動の一環として市立幼稚園全6園において、希望する4・5歳児に対し、保育時間終了後から午後4時まで混合預かり保育を実施しました。

平成23年度 預かり保育利用状況

(単位：人，日)

幼稚園名	利用延べ人数	実施日数	1日当たりの平均利用人数	1日当たりの最高利用人数
土浦幼稚園	447	186	2.4	10
土浦第二幼稚園	956	184	5.2	13
いくぶん幼稚園	714	186	3.8	12
都和幼稚園	291	184	1.6	6
大岩田幼稚園	1,143	184	6.2	23
新治幼稚園	1,071	182	5.9	16
合計	4,622	1,106	4.2	



保育室での園児の様子

【施策の成果】

市立幼稚園全6園において、保育時間終了後から午後4時まで預かり保育を実施したことで、保護者のニーズに対応し、子育て支援の一助となりました。

款	教育費	項	幼稚園費
施策名	市立幼稚園預かり保育事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	2,054千円	財源内訳	国県支出金等 1,755千円 一般財源 299千円

【施策の概要】

保護者の要望や、国の幼稚園教育要領の改訂に対応し、教育活動の一環として市立幼稚園全6園において、希望する4・5歳児に対し、保育時間終了後から午後4時まで混合預かり保育を実施しました。

平成23年度 預かり保育利用状況

(単位：人，日)

幼稚園名	利用延べ人数	実施日数	1日当たりの平均利用人数	1日当たりの最高利用人数
土浦幼稚園	447	186	2.4	10
土浦第二幼稚園	956	184	5.2	13
いくぶん幼稚園	714	186	3.8	12
都和幼稚園	291	184	1.6	6
大岩田幼稚園	1,143	184	6.2	23
新治幼稚園	1,071	182	5.9	16
合計	4,622	1,106	4.2	



保育室での園児の様子

【施策の成果】

市立幼稚園全6園において、保育時間終了後から午後4時まで預かり保育を実施したことで、保護者のニーズに対応し、子育て支援の一助となりました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	学校支援地域本部事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	712千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 712千円

【施策の概要】

地域全体で学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣し、学校の求めと地域の力をつなげます。そのことにより教師の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を増やすとともに、学校を支援することにより「地域の教育力」の向上に寄与することを目的とします。

神立小学校において、ボランティアの方々の協力により、外国人児童の日本語教育の支援を実施しました。

- 神立小学校 児童数 570人
外国人児童 49人
日本語指導が必要な児童 14人

- 地域コーディネーター 2人 学校支援ボランティアのスケジュール管理・連絡調整を行う。
- 学校支援ボランティア 24人 日本語学習支援を行う。

[平成23年度活動状況]

指導を受けた児童延べ人数 700人
ボランティア延べ活動人数 684人

[事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	内容
報酬	520	地域コーディネーター報酬
報償費	9	ボランティア研修講師謝礼
需用費	84	教材・消耗品等
役務費	80	ボランティア保険等
使用料及び賃借料	19	パソコン賃借料
合計	712	

【施策の成果】

ボランティアによる支援により、外国人児童の個別指導の時間を多く確保することができ、各児童に応じたきめ細かい指導ができました。児童は日本語教室での学習を楽しみにしています。また、ボランティアにとっても、自分の知識・経験や学んだ成果を活用する機会となっています。

今後は、さらに、学校と地域の連携強化に向けた取組を検討していきます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

施策名	土浦薪能開催事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	3,000千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 3,000千円

【施策の概要】

古典芸能の振興と市民文化の高揚を図るため、土浦市薪能倶楽部の土浦薪能事業に対し、事業費の一部を助成しました。

[開催日時] 平成23年9月3日（土）

第1部 第2回21世紀を担う土浦能楽大会

第2部 第14回土浦薪能

第1部 開場：9時30分

開演：10時00分～12時30分

第2部 開場：14時30分

開演：15時00分～17時00分

[会場] 土浦市市民会館大ホール

[曲目・演者]

	曲目	演者
1部	舞台発表	21世紀を担う土浦能楽の会
2部	能楽座（狂言）清水	野村万蔵他
	能楽座（能）鞍馬天狗	観世鍔之丞，宝生閑他

[入場者数]

年度	H19	H20	H21	H22	H23
人数	860人	640人	560人	647人	450人



第1部
「21世紀を担う土浦能楽の会」



第2部
「能楽座（能）鞍馬天狗」

【施策の成果】

土浦能楽大会では、子ども達による謡と仕舞により、子ども達の能に対する関心が高められました。

また、土浦薪能では、プロによる能、狂言を多くの市民に鑑賞いただき、伝統文化についての興味や理解を深め、市民の文化意識の向上を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	新治地区公民館建設事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	12,888千円	財源内訳	国県支出金等 9,500千円 一般財源 3,388千円

【施策の概要】

新治地区公民館は、開館後37年が経過し施設の老朽化が著しいことから、利用者の学習環境の改善を図るため、建物の建て替えを行います。

[新治地区公民館の現況]

開館 昭和49年7月 延床面積 1290.86㎡ 構造 鉄筋コンクリート2階建

[事業の内容]

平成23年度 地質調査、測量調査、基本・実施設計

●利用者の学習環境の改善を図るため、以下の点を考慮して設計を行いました。

- ・人と人との出会いの創出（立ち寄りやすい公民館・図書館分館併設による相乗効果）
- ・生涯学習成果発表の場（展示・発表スペースの確保）
- ・ユニバーサルデザイン（バリアフリー・多目的トイレの設置・開放的で安全な空間）
- ・環境に配慮（土浦市環境基本計画や東日本大震災後の状況を踏まえ、自然エネルギー等を積極的に導入）

(単位：千円)

区分	事業費	備考
地質調査業務委託料	1,995	
測量調査業務委託料	893	
基本・実施設計業務委託料	10,000	委託料総額41,576千円、前払金10,000千円 残額31,576千円は平成24年度へ繰越
合計	12,888	

平成24～25年度

本体建設工事、外構工事、解体工事

平成25年度

建設工事竣工 開館予定

- ・予定延床面積 1,888㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート2階建
- ・公民館の中に図書館の新治地区分館（313㎡）を整備



完成イメージ図

【施策の成果】

基本・実施設計を行ったことにより、平成24年度の建設工事着工に向け、準備を進めることができました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	土浦市国際交流協会設立20周年記念事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,200千円	財源内訳	国県支出金等 1,000千円 一般財源 200千円

【施策の概要】

土浦市国際交流協会が設立20周年を迎えることから、協会主催の記念事業である「国際交流フェスティバル」の開催に対して補助を行いました。

1. 実施日 平成24年3月4日（日） 午後1時～午後6時
2. 実施会場 土浦市亀城プラザ
3. 来場者数 約250人
4. 事業内容
 - ①姉妹都市パロアルト市（米）関係者招待
（市長夫妻，国際交流団体ネイバーズアブロード副会長）
 - ②記念事業
 - 土浦市国際交流フェスティバル
 - ・設立20周年記念式典
 - ・功労者表彰
 - ・姉妹都市パロアルト市（米）の国際交流団体ネイバーズアブロード副会長による記念講演
 - ・女性コーラスグループによるコンサート
 - ・交流事業（華道・茶道・餅つきといった日本文化披露，外国人による着物試着体験・外国の民族衣装試着体験と同ファッションショー，高校生箏曲部による琴の演奏）
 - ・交流パーティー（日本料理・外国料理の試食，伝統芸能かっぽれ披露）
 - ・過去の協会事業の写真展
 - 20周年記念誌の発行
5. 経費 3,311千円（うち，市補助金 1,200千円）



記念式典の様子



パロアルト市イエー市長歓迎の様子



ネイバーズアブロード中島副会長による記念講演



民族衣装ファッションショーの様子

【施策の成果】

- 今回のイベントを通じて，土浦市国際交流協会の知名度アップと協会事業のPRを図ることができました。
- 土浦市にとって初めての姉妹都市であるパロアルト市から市長夫妻に来日いただき，両市の理解を深めることができました。また，市民へのパロアルト市との姉妹都市関係の周知と国際交流への関心を高めることができました。
- 市民に国際交流や国際理解，多文化共生への理解を深めてもらうことができました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	青少年健全育成事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	27,342千円	財源内訳	国県支出金等 11,299千円 一般財源 16,043千円

【施策の概要】

○放課後児童クラブ推進事業

<決算額>児童クラブ室整備工事費

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
上大津東小学校第2児童クラブ室新築工事	1,701	新設 (学校内専用教室)
東小学校第2児童クラブ室新築工事	8,295	新設 (学校敷地内専用クラブ室)
合 計	9,996	

(その他の経費) 工事請負費5,565千円, 修繕料1,928千円, 備品購入費451千円, 指導員報酬3,140千円, 消耗品費等1,774千円

<児童クラブ入所状況>

(単位：人)

年 度	小学校1～3年生	うち児童クラブ入所児童	入所割合
平成21年度	3,958	1,048	26.5%
平成22年度	3,947	1,065	27.0%
平成23年度	3,860	1,121	29.0%



上大津東小学校第2児童クラブ室



東小学校第2児童クラブ室

○放課後子ども教室推進事業

<決算額>

放課後子ども教室運営委託料4,358千円, 教室運営委員会経費130千円

<新規に開設した教室>

(単位：人)

開設場所	対象児童	登録児童数
東小学校子ども教室	小学校1～6年生	96
藤沢小学校子ども教室	小学校1～6年生	77

<子ども教室開設状況>

開設場所	開設年度
宍塚小学校子ども教室	平成20年度
山ノ荘小学校子ども教室	平成22年度
東小学校子ども教室	平成23年度
藤沢小学校子ども教室	平成23年度

【施策の成果】

○放課後児童クラブ推進事業

大規模児童クラブの分割, 増設により, 児童の衛生面や安全面等の環境整備が図られ, また女性の就労や少子化が進む中, 子育てと仕事の両立を支援することができました。

○放課後子ども教室推進事業

授業終了後の安全な活動拠点を確保し, 地域の方々や協力者の参画のもと, 児童が学年を超え, スポーツや学習等の活動を行うことにより, 地域の中で子どもたちが健やかに育まれる環境整備を図ることができました。

款	教育費	項	保健体育費
施策名	川口運動公園整備事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	183,798千円	財源内訳	国県支出金等 137,700千円 一般財源 46,098千円

【施策の概要】

〔野球場スコアボード設置工事〕

- 事業費：173,676千円（工事費，設計業務委託料等）
- 工事概要

- ・ 構造：鉄骨造り
- ・ 表示部外形：幅22m，高さ11.5m（表示部7m），奥行き2.5m
- ・ 外部仕上げ：フッ素樹脂鋼板
- ・ 文字表示：LED付磁気反転表示方式
 ※通常は省エネタイプの磁気反転により文字等を表示し，曇天や薄暮時等の見づらいときには，LED（発光ダイオード）を点灯し見やすくする。
- ・ 球速表示：スピードガンにより球速を測定し，スコアボードに表示。（県内初設置）

〔野球場内野改修工事〕

- 事業費：10,122千円
- 工事概要
- ・ 表層工：3,390㎡（土入替え 黒土6：川砂4）
- ・ 張芝工：849㎡（外野右中間部分）



スコアボード

【施策の成果】

大会運営者の利便性，快適な観戦環境及び競技者の安全性の向上を図ることができました。

款	災害復旧費	項	土木関係災害復旧費
施策名	住宅復旧補助事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	277,391千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 277,391千円

【施策の概要】

◎東日本大震災により，多くの住宅が被害を受けたことから，緊急特別措置として，住宅の修繕工事に要した費用の一部を助成する事業を実施しました。

○対象となる住宅
震災により被災した自己用住宅（借家を含む。）

○対象となる修繕
住宅の屋根・外壁・床・階段・基礎等及び塀の修繕
※ただし，全壊及び大規模半壊家屋については，被災者生活再建支援法での対応により，助成事業の対象外となります。

○助成額

修繕費用	助成額
1万円以上10万円未満の場合	1万円
10万円以上の場合	修繕費用の30%を助成 ※限度額10万円

○平成23年度実績

<受付期間>

- ・平成23年7月25日～平成23年8月26日 4会場
(市役所本庁舎・三中地区公民館・神立コミュニティセンター・新治支所)
- ・平成23年8月29日～平成24年3月30日 1会場 (市役所本庁舎)

<助成件数・助成額>

- ・助成件数 3,281 件
- ・助成額 277,391,000 円
- ・1件あたりの助成額 (平均) 84,000 円

<主な修繕内容>

- ・住宅の屋根瓦，内壁，外壁，基礎，玄関や浴室のタイル，塀の破損による修繕

【施策の成果】

東日本大震災により被災した住宅等の修繕費の一部助成を行うことにより，被災者の方々の負担を軽減するとともに，市全体の復興に向けた意識の向上に寄与しました。

主要施策の成果説明書

特別会計

款 地域支援事業費 項 包括的支援事業・任意事業費

施策名	地域包括支援センター窓口事業		
施策体系名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	24,984千円	財源内訳	国県支出金等 14,990千円 一般財源 9,994千円

【施策の概要】

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続していくための支援を充実させることを目的に、市内9か所の在宅介護支援センターを地域包括支援センターの地域における窓口として位置付け、高齢者又は家族等からの総合的な相談に対応するとともに、関係機関との連絡調整や介護予防の周知啓発活動を行いました。

1 配置状況

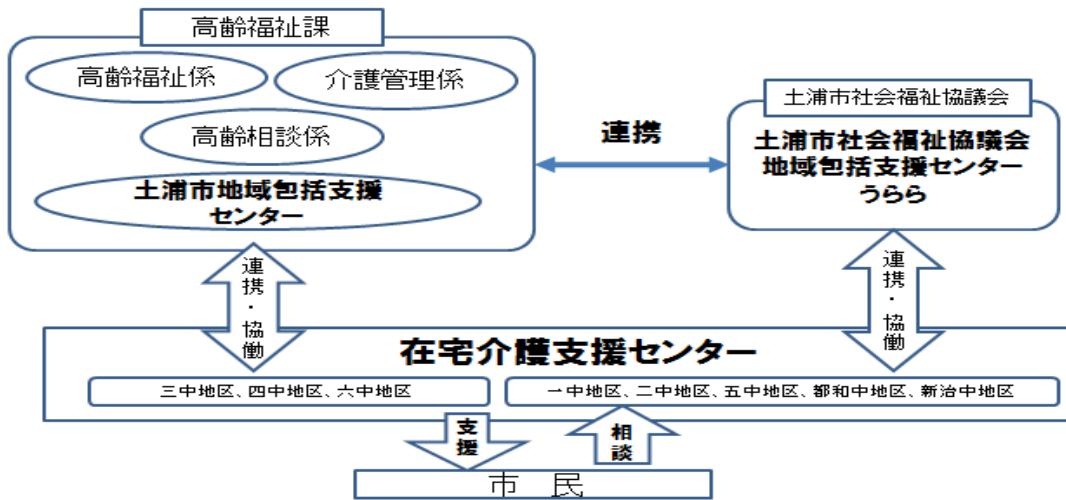
○土浦市地域包括支援センターの窓口機関

三中地区	もりの家	土浦市北荒川沖町8-1
四中地区	飛羽ノ園	土浦市小松三丁目18-18
六中地区	やすらぎの園	土浦市小岩田西二丁目1-49

○土浦市社会福祉協議会地域包括支援センターうらの窓口機関

一中地区	滝の園	土浦市穴塚1935
一中地区	協同病院	土浦市真鍋新町2-19
二中地区	静霞園	土浦市東若松町3379
五中地区	さくら	土浦市神立町444-2
都和中地区	はなのえん	土浦市栗野町1852-1
新治中地区	憩いの里	土浦市高岡2315

＜地域包括支援センターと在宅介護支援センターの関係図＞



2 活動状況

(1) 相談対応件数	2,524件
(2) 高齢者実態把握調査件数	591件
(3) 介護予防等啓発事業実施件数	19件

【施策の成果】

継続して見守りが必要な高齢者に対して、地域包括支援センターと在宅介護支援センターが連携して支援ができるようになりました。

高齢者の実態把握調査により、相談窓口に来ることができない高齢者を把握し、相談支援ができるようになりました。

在宅介護支援センターが介護予防等の啓発事業を開催することで、住民が参加しやすい場所で認知症や介護予防の周知啓発活動ができました。

款 地域支援事業費 項 包括的支援事業・任意事業費

施策名	高齢者権利擁護ネットワーク設置事業					
施策体系名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり					
決算額	248千円	財源内訳	国県支出金等	148千円	一般財源	100千円

【施策の概要】

高齢者の権利擁護の推進を図るために、認知症の高齢者や高齢者虐待の早期発見・早期対応を行えるように、関係機関等の専門性を活かした連携協力体制を整備するために、高齢者権利擁護推進協議会を設置しました。

1 代表者会議の開催（年2回）

認知症高齢者や高齢者虐待に関わる各関係機関等の代表者及び、学識経験者、弁護士を交えて、高齢者権利擁護に係る現状と課題について協議しました。



実務者会議

2 実務者会議の開催（年2回）

各機関の実務担当者から、高齢者虐待及び認知症高齢者等の対応状況を確認し、今後の連携協力体制の具体策について検討を行いました。

3 個別支援会議の開催（随時）

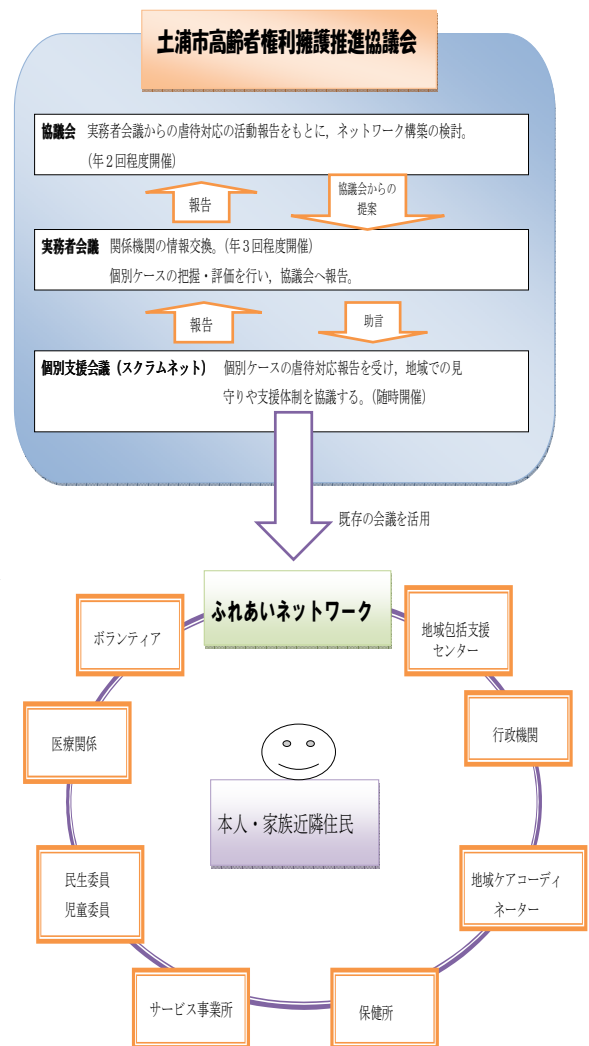
市独自のふれあいネットワークシステムを生かして、地域での支援体制の検討を行いました。

○研修会の開催



土浦市消防署員を対象に、高齢者虐待研修及び認知症サポーター養成講座を開催

＜土浦市権利擁護推進協議会構成図＞



【施策の成果】

推進協議会を設置して代表者会議を開催したことで、各機関の対応状況や課題を関係機関の代表者が共有でき、連携を強めることができました。

実務者会議では、高齢者虐待に関わった際の具体的な対応方法が協議され、虐待を発見した時の通報体制を検討しました。

消防職員対象の研修会を開催したことにより、認知症高齢者の対応方法について具体的な助言をすることができました。

款	下水道費	項	下水道建設費
施策名	公共下水道（污水）整備事業		
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	300,047千円	財源内訳	国県支出金等 293,342千円 一般財源 6,705千円

【施策の概要】

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～平成28年度

全体計画面積 5,587.6ha 認可区域面積 4,062.7ha

[平成23年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	300,047	20件 Φ200～250 延長1,764.2m

[平成24年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	134,847	7件

[過去3年間の公共下水道整備状況] (単位：ha, %)

年度	認可面積	整備面積	整備率
21	4,006.60	3,179.30	79.4
22	4,006.60	3,200.50	79.9
23	4,062.70	3,223.08	79.3

[整備状況]



沖宿処理分区公共下水道(污水)工事

【施策の成果】

神立，田村第一・第二，沖宿，木田余第五，川口，亀城，高津，桜川，永国，小岩田，右靱第一，西根，中村第一・第三，荒川沖第二，新治処理分区内において整備工事を行い，生活環境の向上が図られました。

款	下水道費	項	下水道建設費
---	------	---	--------

施策名	特定環境保全公共下水道整備事業		
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	114,713千円	財源内訳	国県支出金等 103,536千円 一般財源 11,177千円

【施策の概要】

◎新川・備前川等の水質汚濁防止のための下水道（污水）整備事業
 事業期間：平成5年度～平成28年度（単位：ha）

整備対象地区	計画面積	整備済面積
虫掛地区	49.0	48.6
常名・殿里・並木地区	116.0	60.9
大岩田地区	73.0	37.1
新治地区	190.0	162.8
計	428.0	309.4

[平成23年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	114,713	7件 Φ200 延長1,411m

[平成24年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	7,063	1件

[過去3年間の特定環境保全公共下水道整備状況] (単位：ha, %)

年度	認可面積	整備面積	整備率
21	428.0	298.8	69.8
22	428.0	305.2	71.3
23	428.0	309.4	72.3

[整備状況]



大岩田処理分区公共下水道(污水)工事

【施策の成果】

東・西並木・常名地区（亀城処理分区），小岩田・大岩田地区（大岩田処理分区），小野地区（新治処理分区）において整備工事を行い，生活環境の向上が図られました。